

大型漁礁設置を求む

よこ水のパレットを検討



みょうじん てるお 明神 照男 議員

問 カツオが来なくなった。漁礁の質問は控えるつもりだったが、中西前宿毛市長の紹介で岡山の魚礁製造会社社長にお目にかかり話しを聞いたので、再度質問をする。

よこはま水産当時のパレットがそのまま放置されてあるが、それを漁礁に使えないか。また、漁業経営体の減少は町財政の福利厚生面に船員保険で影響がある。減少は燃油高騰もあるが「獲った者勝ち」が原因なので国へ法改正への働きかけは出来ないか。

答 浜田 海洋農林課長

4月に、市町村水産主務担当者会議で大型沈設魚礁を、5月には県議会商工農林水産委員会に沿岸の魚礁設置を要望している。

よこはま水産のパレットの魚礁利用については、土佐清水海上保安署、幡多保健所、漁業振興課と話を始めている。

答 大西 町長

よこはま水産のパレットを漁礁に活用する件は、町で検討する。大規模ではなく中規模漁礁はリマと種子島の事業もあり会計検査院関係で事業効果の問題で県に働きかけて行く予定。

法改正については水産振興対策協議会の理事会で、本日の意見等を参考に協議を進めたい。

危機管理

佐賀の集中豪雨 避難対策は

地域防災計画にに基づき判断

問 危機管理は地震、津波、

原発による放射能汚染だと思っていたが、未曾有と言われる集中豪雨が仲間入りした。八州大乱の天災と人災でアベノミクスと喜んではおれん。

津波は高台だと心配なく、山地の人達は安心と思つていたら山津波があった。地震は何百年に一度だが集中豪雨は毎年起きる覚悟がいる。洪水の時佐賀は大方の様に高台も公共施設も無い。避難対策及び勧告と避難指定場所はどこか。

浜町の津波避難タワーを水害にも利用できないか。洪水の危険もあり、一日でも早い完成を望むが、どうか。

答 金子 住民課長

避難対策は黒潮町地域防災計画一般対策により高知地方

気象台から当町に大雨または洪水警報が出された時、第一水防配備体制に基づき関係職員が参集して、状況により消防団出動や、区長、関係機関等の提携で対応をする。

答 松本 情報防災課長

避難勧告及び指示の発令は当町地域防災計画に基づき、その場合は関係機関の情報と現地の気象情報を確認しながら災害対策本部において総合

的な判断をしている。

台風の際は佐賀中学校を避難場所として指定しているが、風水害の時は土砂災害の危険箇所付近、安全性について、なお検討をしたい。

洪水で避難タワーの利用は、今後の見直しの中で地域住民と共に考えていきたい。

その他の質問

※町の財政問題
※原発再稼働問題



漁を待つ漁船（佐賀漁港）